

鰻と蛸

—日本における伝承と信仰—

平成30年1月 別府大学院文学研究科文化財学専攻 吉竹千穂

鰻は日本全国に伝承と信仰が存在するが、日本における鰻の信仰の多くは、虚空蔵菩薩や三島明神などの使いとしての信仰である。特に虚空蔵菩薩と鰻の関係性を語るうえで、雲南神(ウンナンガミ)は無視できない存在であり、雲南神を祀る地域一帯のほとんどの鰻にまつわる伝説や禁食が見られた。この他に鰻を神使として祀り食用を禁忌とする例として、京都の三嶋神社を挙げる。大分県に位置する宇奈岐日女は、かつて宇奈岐日女という女神を祀っていた神社である。「宇奈岐」という名前から後年人々の誤解により鰻と関係づけられたとされるが、松井魁氏の著書『うなぎの本』では、宇奈岐日女神社の祭神である宇奈岐日女と鰻の関係を示唆する伝承が記載されていた。このことから宇奈岐日女と鰻の関係を追求し、『宇奈岐日女神社由来』などの資料から日女神と鰻の関連性について言及と考察を行う。また、宇奈岐日女と宇奈岐日古をともに祀り、宇奈岐日女神社との関係が予想される、同県の倭積神社についても取り上げる。

日本では鰻同様各地に蛸を神仏の使いであるとして祀る寺院や神社が存在する。例としては少ないが、蛸そのものを蛸神として祀る場合も確認された。有名なものでは薬師如来と結び付けられ、眼病の治癒やイボの除去に霊験あらたかであるという蛸薬師がある。蛸薬師以外にも蛸と関係の深い祭礼行事や縁起を持つ寺社は全国に点在しており、蛸の生息域に近い臨海部を中心に内陸部や山林部に位置するものもみられた。鳥取県伯耆町の福岡神社では、祭神である速玉男が航海の途中に大蛸に助けられたことからその蛸の神徳をたたえる、蛸舞式という神事を行う。本稿では数ある祭礼行事の中でも独自性の強い蛸舞式とこの祭礼を含む一連の祭礼、そして福岡神社における蛸の禁食を取りあげる。この他、姉妹の海女が大蛸から取りあげた宝剣を御神体とし、速吸日女を祀る大分県佐賀関の速吸日女神社と、兄弟、または親子の海士が大蛸から取りあげた宝玉を御神体とし、速吸日古を祀る愛媛県伊方町の野坂神社をともにとり挙げ、縁起や祭神の類似について言及し考察を行う。そして鰻と蛸について触れた後、ともに食用を禁忌とされるという共通点について論じ、それぞれが持つ性格について比較し考察する。